



平成 27 年 10 月 23 日

各 位

会 社 名 株式会社キムラタン  
 代表者名 代表取締役 浅川 岳彦  
 (コード番号 8107 東証第 1 部)  
 問合せ先 常務取締役 木村 裕輔  
 (電話 078-332-8288)

平成 28 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間の業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 27 年 5 月 15 日に公表いたしました、平成 28 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間（平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想の修正  
 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 2,100	百万円 △60	百万円 △55	百万円 △50	円 銭 △0.06
今回修正予想 (B)	1,850	△160	△165	△170	△0.22
増減額 (B - A)	△250	△100	△110	△120	—
増減率 (%)	△11.9	—	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 27 年 3 月期第 2 四半期)	2,016	△79	△83	△88	△0.11

2. 修正の理由

当第 2 四半期連結累計期間の売上高は、前回予想を下回る見通しです。個人消費が力強さを欠く中、店頭売上高が厳しい推移となったことと、ネット通販の売上が前期実績は上回るものの、計画値は下回る見通しとなったことが主な要因です。

売上高が予想を下回ったことと、夏物在庫消化に向け割引率が予想値を上回り、粗利益率が低下したことにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は各々予想を下回る見通しとなりました。

3. 通期業績予想について

本日公表いたしました「業務・資本提携及び第三者割当による新株式発行並びに主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ」及び「子会社の出資持分譲渡及び特別利益の計上に関するお知らせ」に記載のとおり、当社では「愛情設計」ブランドの中国事業をパートナー企業とともに拡大していくことを計画しておりますが、当期の業績に与える影響については現在精査中であり、現時点で確定できておりません。

通期業績予想につきましては、中国事業の見通しが確定次第、速やかにお知らせいたします。

※ 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上